

第6回地域審議会会議録

(双葉地区)

1. 日時

平成20年11月13日(木)

19:00～21:00

2. 場所

双葉ふれあい文化館 2階会議室

3. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 市長あいさつ
- (4) 部長あいさつ
- (5) 審議事項
 - 1) 平成20年度事業状況報告
 - 2) その他
- (6) 閉会

4. 出欠席者

- (1) 出席委員[8名] ※委員名簿は別紙
- (2) 事務局
保坂市長、小田切企画部長、雨宮環境経済部長、
企画課総合政策担当・有泉リーダー、石合、宮川
- (3) 欠席委員[2名]
井山委員、山田委員

5. 議録

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
今回で第6回目の地域審議会となる。規約で平成18年5月から平成27年3月までの期間、審議会が設置され、委員の任期は2年で、来年3月で任期が終わる。よろしくご審議願う。
- (3) 市長あいさつ
10月3日に市長に就任した。委員の皆さんには長年にわたりご指導いただき感謝する。地域審議会は市民に身近な団体であり、市民の声を審議会に反映していただき、市の政策作りに役立てていきたい。本日も大卒だが、担当より大きな事業についてご説明ご報告させていただき、皆さんのご意見を頂戴したい。竜王駅については周辺整備を進めている。塩崎駅については、駅周辺の方たちの意見を聞いて進めていく必要がある。

双葉地区消防団の活動範囲等についても協議を行っている。

(4) 部長あいさつ

[企画部長]

11月から企画部長となった。地域審議会のスタート時の平成18年の5月に企画課長であった。合併して4年が経過し、委員の皆さんにはご支援ご協力をいただいている。新市建設計画の実現に向け、いろいろな課題等がある。今後ともよろしくご審議をお願いしたい。

[環境経済部長]

11月から環境経済部長となった。この審議会には、双葉支所長として出席している。よろしくお願ひしたい。

(市長退席)

(5) 審議事項

(新委員である豊田委員の紹介後、審議に入る。)

1) 平成20年度事業状況報告

[会長]

事務局より一括説明願う。

[事務局]

(資料を用いて説明)

[会長]

No.1の双葉東小校庭整備事業について何かご意見は。

[委員]

関係者と協議となっているが、協議内容はどういう内容か。

[事務局]

内容は、ため池管理と水量確保である。

[委員]

ため池の面積はどのくらい減ったのか。

[事務局]

1,840㎡くらい。

[事務局]

20mくらいバックしている。昭和 50 年代にビニールシートを張る工事を行った。平成 16 年度から平成 19 年度にかけて適正化事業で補修、整備。水量の確保について覚書きのなかで決めてあり、対応していく。

[会長]

No.2 の幹線道路整備事業について何かご意見は。

[委員]

この計画通り事業執行してもらいたい。

[事務局]

なお、この資料には掲載していないが、開発 1 号線については、1、2 年先の間に沖田橋の架け替え、歩道設置などが双葉スマートインターのフルインター化に向けて進む予定。

[会長]

次に、No.3 災害時支援計画について何かご意見は。

[委員]

双葉地区は 144 名ということだが、対象者はどういった人達か。

[事務局]

65 歳以上の一人暮らしの方たちであり、毎年実施している民生委員の基礎調査時に手あげ方式にて把握した。

[委員]

障害を持つ方たち、例えば車いすの方や、施設に入所されている方たちのケースはどのように考えているのか。

[事務局]

個人情報のこともあるので難しいが、順次進めていく。体制づくりからまずは取りかかる。

[委員]

要援護者を救うため、どういう体制で進めるのか。

[事務局]

今後自治会におろし、組単位で協力者を出してもらい、災害時の安否確認や避難誘導體制をつくっていく。

[会長]

次にNo.4 指定管理者施設の状況について何かご意見は。

[委員]

指定管理に出来るだけ地元の業者を使ってもらえるように、取りはからってほしい。

[委員]

温泉を指定管理にしたため、実数が増えたと聞いたが。

[事務局]

百楽泉の利用者は今年9月の時点で昨年に比べ2,690名の増、利用料金は約315万増えている。

時間の延長や輸送方法等、民間は役所よりノウハウがある。

[委員]

以前よりきれいになった。

[会長]

No.5 双葉体育館耐震改修事業について何かご意見は、
体育館に空調設備は入らないか。

[事務局]

体育施設であるため、難しい。

[委員]

関連して、耐震化をやらなければならない小中学校はどこか。

[事務局]

校舎としては、竜王小、竜王北、竜王中について耐震診断を現在実施。

平成21年度以降に補強を計画しているのは、玉幡小、竜王中、竜王小体育館、竜王北小体育館。

[委員]

その補助金はどのくらいか。

[事務局]

補助は少ないが実施していく必要がある。

[会長]

No.6 塩崎駅周辺整備事業について何かご意見は、

[事務局]

平成14年の土地利用審査会等でその構想案を作り、新町、山本地区におろしたが、反対が出された。駅周辺の整備は必要であるが地元の承諾がなかなか得られない。地元懇話会でもだいぶ厳しい意見が出ている。今後も理解を得られるように努力していく。

[会長]

現在の場所ではなく、移築という考え方はないのか。

[事務局]

駅舎を作るということではなく、基本ベースは駅南北の道路の整備、駅前広場や駐車場、駐輪場。

[会長]

竜王駅の規模をみると、塩崎はほんの一部。八田や白根、葦崎の人達も塩崎駅を使用している。生徒も通学し、つくし野、緑が丘地区の育成会長名で、歩道の設置も要望している。人命にかかわる問題でもある。

No.7支所建設事業について何かご意見は。

当初から設計は変わっている。

[事務局]

双葉支所に関していうと、平成23年度に耐震、改修工事を実施する。教育委員会にいる職員が移動した後、支所を一時公民館に移して工事を行うためである。双葉は支所機能だけになる。空いた空間の利用について、議員を通してでもよいので、利用方法のアイデアをいただければと思う。

[委員]

推移をみてということになると思う。

[会長]

今後の支所をみてからということになる。あちこち住民が窓口を回らされることのないようをお願いしたい。

次に、No.8障害者手当事業についてご意見は。

[事務局]

合併時、竜王方式の基準に合わせた。他市と比べ甲斐市は手厚い状況。

[委員]

減額に弊害が出ないか懸念される。

[委員]

何人とは言わなくてもいいが、年額54万円の該当者はいるということだね。

[事務局]

はい。

[会長]

No.9乳幼児医療費助成事業についてご意見は。

[委員]

他の市町の動向をみながらやっていくということだと思う。

[委員]

インフルエンザの予防接種の件で聞きたいのだが、高齢者は1,000円で受けられるが、小学生2,500円、中学生2,800円となっている。もう少し減額はできないのか。

[事務局]

高齢者は国で奨励している。小中学生については事故が多く、国が援助しなくなった。今は特に考えていない。

[委員]

京都では小学生は500円で受けられると聞いた。少子化問題として考えていただきたい。

[事務局]

議会からも同様のご質問があった。インフルエンザ薬も副作用という問題がある。

2) その他

[会長]

その他何かご意見は。

[委員]

この審議会の根拠は何か。

[事務局]

合併時の協議により審議会を設置した。旧町の各地域の実情を把握し意見を聞く。新市建設計画の事業進捗について審議する。合併特例法第5条の4第1項の規定に基づく。

[会長]

出来れば事務局から新しい委員に、平成18年5月時の資料を渡してほしい。

[委員]

審議内容が主要事業の説明だけ。財政費用、3町のバランス、ウエイトを示していない。例えば建設にどのくらい予算を配分しているのかが、これでは分からない。次回から示すようにしてほしい。合併して良かったと、数値を見れば安心する面もあるのではないかと。

[委員]

合併して、双葉の町民会館が公民館になり、利用できる範囲が狭くなっている。全体の人達の意見だ。

また、竜王地区ではおみゆきさんや学問まつりがある。双葉の薬師堂まつりも地域のまつり

として残してほしい。

[委員]

米沢地区に工事の回覧がまわったが、どこを工事するのが分からない。県の工事で土木業者が作った回覧のようだが、市からも指導してほしい。

[事務局]

通行止めをするので回覧をする必要がある。関係部署には話しておく。

[会長]

一通だけ持ってきて、回覧してほしいということもあった。

[委員]

先日、教育委員会に行ったが、職員のあいさつができていない。指導をお願いしたい。

[事務局]

双葉支所の市民課は、市民が玄関から入ってきたらあいさつができるような体制に改善した。教育委員会にも話しておく。

[会長]

他にご意見は。

[事務局]

(健康推進事業と敬老福祉大会、わくわくフェスタの在り方について資料を用いて説明。)

[委員]

敬老福祉大会だが、区のほうからもお願いしていると思うが、気軽に参加できるよう身近で開催してほしいと思う。地元の地区で、楽な姿勢で参加できるほうがよいという意見がある。

[委員]

敬老福祉大会については、市長も見直さなくてはならないと話していた。

[事務局]

身近で開催するのがいいのかなど、ご意見をお聞きしながら方向性を出していきたい。

[委員]

この辺の案件審議が地域審議会の役割かと思う。

[委員]

双葉地区は当初旧町の方針が良かったが、大会に参加した人は良かった、また行きたいと言っている。反対する人は参加していない人が多いと思うので、一回参加してみたら決めてほしいと思う。一人 5,000 円掛かっているというが、あの内容で 600 万円の事業費は妥当ではないか。

[委員]

県民文化ホールの収容人数が2,000人なのでそれ以上の参加はいずれ無理だ。

[委員]

65歳以上の甲斐市人口およそ12,000人の内、約1割が参加でいいのかどうか。大がかりなものではなく、もっと多くの人に参加できるように地元で実施するのがよいのか検討する必要もある。また参加対象年齢についても考える必要もある。

[委員]

わくわくフェスタだが、交通渋滞の緩和をもっと考えてほしい。

[会長]

以上で審議を終了する。

(6) 閉会